

LECIP

第58期 報告書

平成21年4月1日～平成22年3月31日

The 58th Business Report

レシップ株式会社

証券コード：7213



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
ここに、第58期決算の概況をご報告申し上げます。
ぜひご一読いただき、当社へのご理解を一層深めていただければ幸いです。

代表取締役社長執行役員 **杉本 眞**



「快適な日常」を実現する という理念に立ち戻り、さらなる成長を図ります。

Questions 1

平成22年3月期(当期)の業績と、 PG2009の総括をお願いいたします。

当期のわが国経済は、国内外の景気刺激策や新興国への輸出回復等により一部に明るい兆しが見られたものの、雇用情勢が深刻さを増し、先行き不安感が広がる中で、個人消費の低迷や民間設備投資の停滞が続くなど、依然として厳しい状況が続きました。

このような環境の下、当社グループにおいては、当期が中期経営計画「PG2009」の最終年度であることを受け、重点課題である「新規基幹商品の育成」、「海外事業展開の再構築」、「コスト競争力の強化」を進めてきました。

しかしながら、主力の輸送機器事業において、売上を牽引していたバス用ICカードシステムが大口物件の一巡

等により減少したほか、トラック新車販売台数の落ち込みにより、トラック用蛍光灯具の売上が落ち込んだこと、景気の低迷に伴う設備投資の停滞の影響からバッテリー式フォークリフト用充電器等の産業用電源機器の販売が不振であったことなどから、グループ全体の売上は前期を下回りました。

以上の結果、売上高は135億85百万円(前期比19.8%減)、営業利益は29百万円(前期比97.2%減)、経常利益は64百万円(前期比94.2%減)、当期純利益は41百万円(前期比92.0%減)となりました。

また、PG2009を推進してきた3年間を改めて顧みますと、東証・名証2部への上場(平成19年12月)を果たしたほか、不振が続いていたS&D事業の抜本的な構造改革、さらには経営資源を環境分野等の成長市場へのシフトにより各市場におけるLED関連製品の開発・

ラインアップを充実させるなど、いくつか期待できる動きもできてきました。

Questions 2

新しくスタートする

中期経営計画の概要を教えてください。

新中期3カ年経営計画は、「CE2012」と命名しました。「CE」とは“Comfortable Everyday”の略で、「快適な日常」の意味です。そもそもレシップ・グループの経営理念は、「省エネルギー・地球環境対応・セキュリティ強化を通じて、快適な日常(Comfortable Everyday)を実現するための製品・サービスを提供する」としています。

レシップは、屋外や車載用など厳しい使用環境に耐え得る商品の開発に強みがあり、長年培った技術・ノウハウを活かして、ワンマンバス・鉄道用電装機器、屋外広告用電源、産業用機器などマーケットが小さくてもそこで深掘りしていくことで、トップシェアをとる戦略を打ち出してきました。

今後も、レシップらしい新規基幹商品を、レシップらしい市場へ展開していく上で、「快適な日常」をつくることに寄与するという経営理念、そこにもう一度立ち戻り、本当に必要なものをお客様に提案していく姿勢が必要だと考えています。

こうした基本的な考え方の下、今後の成長に向けた方向性として、下記の3点を中心に展開していきます。

①リアルタイム乗客情報システムの推進

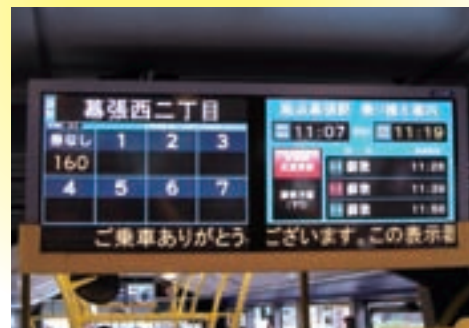
②LED関連ビジネスの強化

③海外市場展開の強化

①リアルタイム乗客情報システム(PIS=Passenger Information System)の推進

現在拡販を進めている車載用液晶表示器OBCの進化形として、バス車内だけではなく、バス停を初めとする屋外にも表示器を設置して、路線バスと車外のネットワークを構築するというものです。

バスの運行情報や乗り換え案内、ニュース、CMなど多くの有益な情報をタイムリーに提供するという従来にはなかったシステムです。これまで以上に、乗客の皆様の利便性向上に寄与し、快適な公共交通の実現に向けて「リアルタイム乗客情報システム」の提案を進めていきます。



京成バス(株)様新型連節バスにご採用いただきました。

②LED関連ビジネスの強化

ご承知のとおり、環境関連の法改正や市民の意識の高まりなどで、省エネや環境への対応が急速に進んでいます。こうしたことが追い風となって、照明分野におけるLEDの採用が活発化しており、当社においても引き続きLED関連製品(電源、灯具、電球等)の拡販に注力します。

長寿命のLEDを活かすには、その周辺の製品の耐久性も差別化のポイントになると考えられます。当社の強みを活かした高品質の製品開発と、拡販戦略を推進していくことで、「LED関連ビジネスの強化」を図ります。

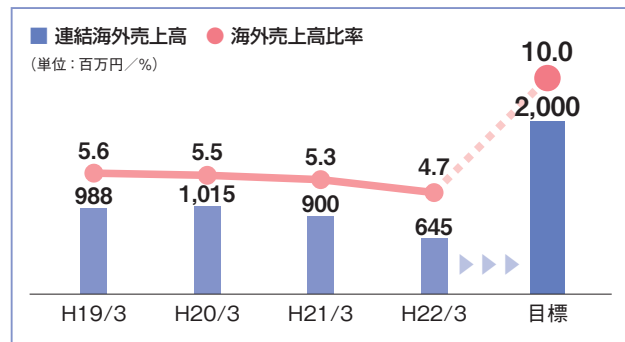
③海外市場展開の強化

今後のレシップ・グループの成長に向けては、海外への拡販が不可欠であると考えています。主力の輸送機器事業を中心に海外市場の開拓を進めます。

特に北米をターゲットとしており、路線バス市場参入に向けて、現地バス事業者への積極的アプローチや、現地同業他社との協業の可能性についても検討しています。

また、米国をはじめ海外においては、鉄道網の整備計画が進められています。当社においても列車用灯具での参入を図るべく、海外の案件を積極的に受注されている日本の車両メーカー各社様へのアプローチと製品開発を進めており、路線バス用機器との両輪で、海外市場の開拓を推進します。

さらに、これまでも納入実績があるシンガポールなどアジア地域への営業も引き続き強化し、海外事業の売上高は、全売上高の10%達成を目指します。



トピックス Topics

製品

LED関連製品ラインアップ

LED照明は、消費電力の低減、長寿命により取り替えの手間が少ないことに加えて、紫外線・赤外線が少ないことから、様々な市場で活用されており、急速に普及が進んでいます。その背景には、国のCO₂削減施策、改正省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)の施行や、市民の省エネ意識の高揚などが追い風にあるといわれています。

レシップにおいても、これまで蓄積した研究開発のノウハウを活用し、LED関連製品のラインアップを充実させ、拡販を進めています。

輸送機器市場向け



電球型LED灯具
(平成22年5月から発売開始)

室内蛍光灯と互換性のあるLED灯具に加えて、新たに、電球型LED灯具を開発しました。車載用蛍光灯におけるトップシェアの強みを活かして、拡販を推進していきます。



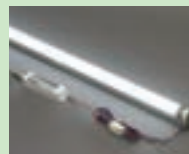
保冷・冷凍車向け
荷室用LED灯具



軽自動車用
小型LED灯具

S&D市場向け

屋外看板用や屋内照明用など様々な用途で、安定した効率のよいLEDの点灯に寄与しています。当社製LED電源を使用した、照明灯具の販売も開始しました。



蛍光灯型LED照明灯具



LED電源

Questions 3

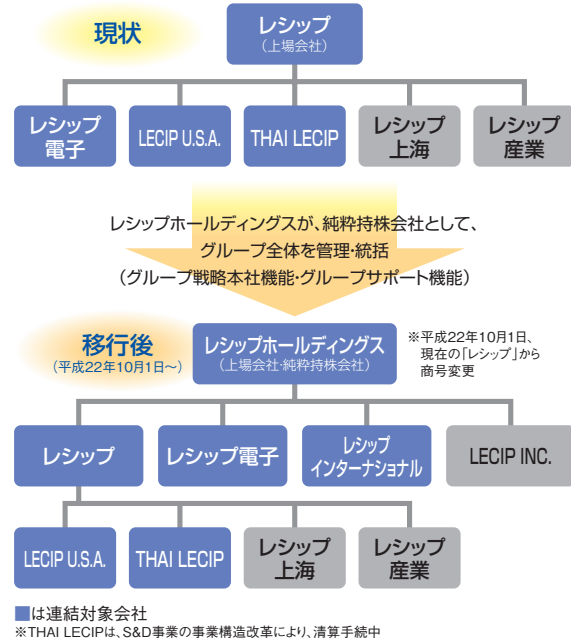
純粋持株会社体制の移行予定について、教えてください。

先に発表しましたとおり、純粋持株会社体制への移行準備を進めており、第58回定時株主総会において、新設分割計画及び定款一部変更に関して承認されました。当社は平成22年10月1日付けで、「レシップホールディングス株式会社」に商号変更を行い、純粋持株会社として引き続き上場を維持する予定です。

今回純粋持株会社体制への移行を図った狙いとしては、グループ戦略の企画立案・実行機能を一層強化しながら、当社グループ全体の企業価値の向上を図ることとしたものです。

皆様におかれましては、引き続き、変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

純粋持株会社体制への移行について



環境・社会

社会・環境報告書2010を発行しました。

今回、「社会・環境報告書」としては、初めての発行となります。社会報告については、社内託児所の運営や、学生インターンシップの受入などの具体的な活動内容を紹介するとともに、環境報告については、社内の活動全体をご理解いただけるよう、フローで紹介しています。

ご希望の方には、お送りいたしますので、レシップ(株)総務部までご連絡をお願いいたします。

▶ホームページにも掲載しています。

<http://www.lecip.co.jp/environment/environment01.htm>



社会・環境報告書2010



学生インターンシップ



社内託児所

市場規模の大きな、米国の輸送機器関連市場を最優先としつつ、既存実績のあるシンガポール、香港市場も足固めを図っていきます。

執行役員営業本部副本部長(海外担当)

上野 一雄

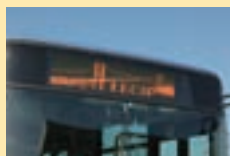
地理的に優先度が高いのは、市場規模の大きな米国の輸送機器市場です。米国においては、まず、バス事業者向けに、表示器や運賃箱など各種車上機の販売を進めていきます。また、中長期的な案件となりますが、高速鉄道整備計画をはじめとした鉄道市場向けには、車両用灯具の売り込みを進めます。多々障壁をクリアしていかなければならないこともありますが、そのほか都市部の公共交通関連市場も含めて、米国は、市場の規模としても非常に魅力を感じています。交通事業系の入札案件は、規模という点において間尺にあったものは、積極的に取り組んでいきます。



さらに、既に実績のあるシンガポール、香港でのビジネスの足固めを図ります。これまでの実績をベースにした代替需要の取り込み、周辺機器の提案などに加えて、その客先のパートナーとなって、海外での大きなプロジェクトへの参画も検討していきます。

海外市場向け有力製品

● バス関連製品



LED式行先表示器
 英語圏向け仕様
 ※表示内容はイメージ

OBC-VISION
 液晶表示器
 ※表示内容はイメージ



運賃箱
 米国市場向け仕様

● セキュリティ関連製品



車内監視カメラ



ドライブレコーダー

海外マーケット戦略

Market-01 米国

狙い バス事業者向け表示器、OBC-VISION、運賃箱など各種車上機
中長期：鉄道車両用灯具

米国
路線バス運行台数
約82,000台

日本
路線バス運行台数
約58,000台

シンガポール
路線バス運行台数
約4,000台
(運賃箱シェア100%)

 世界各地で予定されている
高速鉄道整備計画

米国 サンフランシスコ-サンディエゴ間の長距離
路線のほか、11ほどの計画が浮上

中国 高速鉄道等の整備
(平成32年までに1.6万km整備予定)

英国 IEP (Intercity Express Program)

ブラジル リオーサンパウロ計画

ベトナム ハノイ-ホーチミン計画

 路線バスマーケット

Market-03 香港

実績 電子マネー(オクトパス)用リーダー・
ライタ
(香港国内設置 約30千台の6割に
あたる18千台を納入)

狙い バス車載機器、地下鉄関連製品

Market-02 シンガポール

実績 バス用運賃箱、
AVMS (バス総合運行管理システム)

狙い バス運賃箱の代替需要及びその派生
需要

Next Market

- 東南アジア諸国(マレーシア、タイ、インドネシア、ベトナムなど)、中近東、インド
- アフリカ、南米市場

Topics 海外事業展開の再構築を図って、子会社の再編を進めました。

米国市場向け
ネオン変圧器販売から撤退

不採算が続いていた米国市場へのネオン変圧器販売を撤退し、あわせて生産拠点であるタイ国の連結子会社 THAI LECIP CORPORATION LIMITEDの解散を決定し、清算手続を進めています。

販売子会社の新設

北米における輸送機器市場への参入を図るため、米国法人としてLECIP INC.(日本名 レシップインク、本店所在地：米国イリノイ州)を新たに設立しました。



まちづくりに生きる LECIP



● 公共交通とまちづくりに根ざすレシップの理念

全国の各地域では、環境意識の高まりなどで公共交通機関が見直され、バスや鉄道を地域ネットワーク活性化の中心として位置づける動きがでてきています。

レシップでは、従来から表示器や運賃収受機器など、乗客の皆様の利便性向上と交通事業者様の業務効率向上の両方に寄与する関連製品の開発を進めてきましたが、さらに、乗客の皆様の利便性向上を追求した、車内と車外、まちをつなぐ製品・システムをご提案することで、公共交通の利用促進、まちの活性化に貢献していきたいと考えています。

今回は、最先端の取り組みをされている富山市の森市長に「公共交通とまちづくり」についてお伺いしました。



富山市長
森 雅志氏

公共交通を軸とした、歩いて

まちづくり施策の3本柱

公共交通の活性化

公共交通のブラッシュアップ

- ▶ 公設民営方式によるLRT導入、市内電車の環状線化
JR富山港線を蘇らせた、富山ライトレールの整備
都心地区の回遊性強化を狙い、市内循環運行を追加
- ▶ 魅力ある都市景観の構築
車両、電停、車道、歩道などトータルデザインを採用し、公共交通でまちの雰囲気をつくる

公共交通活性化の背景

全国有数の乗用車保有台数でも、車を自由に使えない市民は3割

富山は、1世帯当たりの乗用車保有台数が多く(富山県：全国第2位 ※平成21年3月末現在)、自動車への依存が高い地域ですが、一方で、車が自由に使えない人(運転免許がない人、自分専用の車がない人)は、高校生、高齢者をはじめとして、転勤により移住してきた家族など、15歳以上の市民のうち3割と、かなりの数にのぼることがわかりました。

また、自動車への高依存は、郊外拡散型のまちづくりとセットであり、公共交通の衰退を招きました。しかし、人口減少傾向が進む中で、“拡散型のまち”のままでは、都市管理の維持コストが大きな負担となることが明らかです。

こうした課題の総合的な解決を図るため、公共交通を活性化させ、その沿線に都市の諸機能を集積させることにより、“公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり”の実現を進めています。

公共交通沿線地区への居住推進

沿線人口を3割から4割へ

- ▶ インセンティブによる沿線への誘導
- ▶ 新たに駅をつくることで、「沿線人口」を増やす

中心市街地の活性化

中心市街地活性化基本計画が全国第一号認定

- ▶ 公共交通の利便性の向上
- ▶ 新たな賑わい拠点の整備
- ▶ まちなか居住の推進



富山市について



富山市は富山県のほぼ中央から南東部分までを占め、北には豊富な魚介類を育む富山湾、東には雄大な立山連峰、西には丘陵・山村地帯が連なり、南は豊かな田園風景や森林が広がっています。

海の幸に恵まれた富山湾から登山家たちを魅了してやまない3,000メートル級の山々までが織りなす自然の姿は、世界第一級の景観をなしています。

さらに詳しい富山市の情報を知りたい方は、富山市ホームページをご参照ください。

<http://www7.city.toyama.toyama.jp>

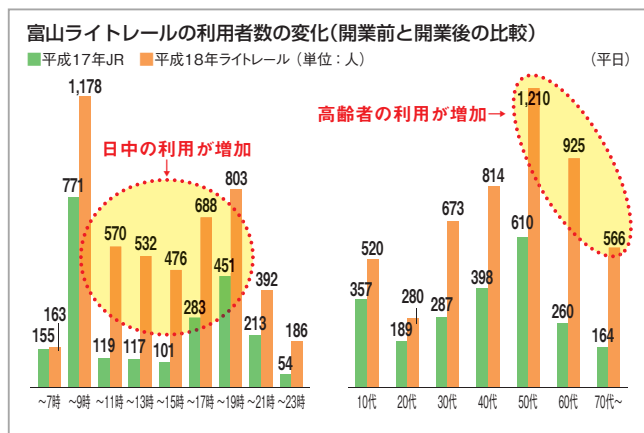
暮らせるコンパクトなまちづくり

まちづくり推進の効果

公共交通の活性化は、沿線に住んでいる人の暮らしを変える

沿線での住宅着工件数が増加するなど、新しい経済をもたらす兆しが見えてきました。また、公共交通の利用者、特に日中の高齢者の利用が増えました。沿線では、自動車から公共交通の利用に切り替えた市民も多く、環境負荷の低減という点からも効果が見られます。

これからも、東京の吸引力、特に若い人を引きつける力は変わらないでしょう。だからこそ、地方都市としての一定の「人口維持力」とともに、選ばれる「魅力」という競争力をつけなければなりません。そのためにも、近視眼的ではなく、30年先を見据えて、まちづくりを進めていきます。



これからの公共交通のあり方

従前より、EU各国では、公共交通に対して、広く財源を負担していくことに市民の理解があり、一事業者の収支という視点を超えて、公共交通システムが維持されています。直近では米国でも、27都市にLRTが導入されるなど、公共交通の整備が進んでいます。

富山市では、まちづくり全体のビジョンを示すことで、市民の理解を得、市からの積極的な提案などにより、国と一緒にモデル事業を進めることができました。今後、さらに市民の「交通権」を守る財源を確保するためにも、EUのような公共交通に対する考え方への理解が、日本でも高まっていくことを期待しています。

●LRTとは

LRT(Light Rail Transit)とは、低床式車両(LRV)の活用や軌道・電停の改良による乗降の容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する次世代の軌道系交通システムのことです。



LECIP in 富山

富山市が公共交通活性化の一つとして進められたICカードシステムの導入にあたり、富山ライトレール様、富山地方鉄道様に、それぞれICカード機能付き運賃箱をご採用いただいています。

Business Segment Overview

事業別営業の概況

● 輸送機器事業

路線バスや鉄道用のワンマンシステム機器をトータルに提供し、乗客の利便性向上をサポートしています。また、バス・鉄道車両・トラック・乗用車に搭載される室内用・荷室用照明機器の製造・販売も行っています。

● 主な製品

バス・鉄道用システム機器

ICカードシステム、磁気式カードシステム、運賃箱、整理券発行器、OBC-VISION(液晶表示器)、LED式行先表示器、デジタル運賃表示器など

その他車載機器

バス・鉄道・トラック・乗用車の室内用・荷室用照明機器、ドライブレコーダー



LED式行先表示器



OBC-VISION(液晶表示器)



非接触
ICカードリーダー



降車信号装置
(押しボタン)



カードリーダー付運賃箱



保冷・冷凍車向け
荷室用LED灯具



新幹線用照明

● S&D(サイン&ディスプレイ)事業

長年のノウハウの蓄積により、屋外で使用される広告用各種電源機器(LED、蛍光灯、ネオン等を点灯させるための機器)を製造、販売するほか、LED照明灯具や建築照明システム(CCL)等の新たな製品開発も進めています。

● 主な製品

LED電源、
屋外蛍光灯看板用電子安定器、
CCL、
ネオン変圧器(巻線式・電子式)



巻線式ネオン
変圧器



CCL



LED電源

● 産業機器事業

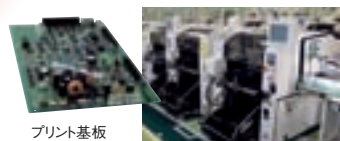
インバータ技術をベースに産業用電源関連機器を提供するほか、子会社レシップ電子(株)において、自動車用電装品、電子機器関連の各種プリント基板実装事業を行っています。

● 主な製品

バッテリー式フォークリフト用充電器、
無停電電源装置、
EMS事業(プリント基板の実装)



バッテリー式
フォークリフト用充電器

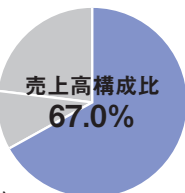


プリント基板

輸送機器事業

■ 当期の営業概況

バス用ICカードシステムが、首都圏や福岡地区など大口物件が一巡により大きく減少したほか、景気低迷により、トラック用蛍光灯具の販売が落ち込んだことなどから、同事業は減収となりました。



売上高 **91** 億07百万円

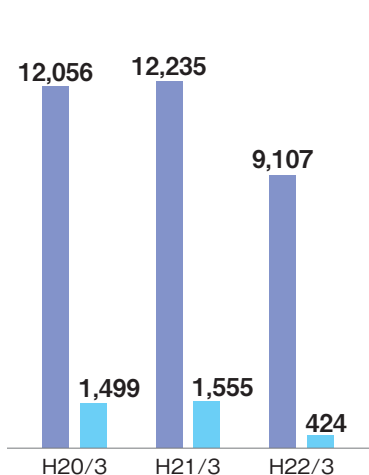
(↓前期比25.6%DOWN)

営業損益 **4** 億24百万円

(↓前期比72.7%DOWN)

■ 売上高 ■ 営業損益

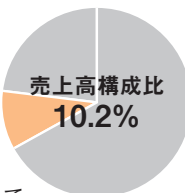
(単位：百万円)



S&D事業

■ 当期の営業概況

LEDの需要拡大に伴い、LED電源の拡販が進み増収となりました。また、不採算が続いていた米国ネオン変圧器から撤退したことなど、事業再編が奏功したことから、赤字幅の縮小となりました。



売上高 **13** 億80百万円

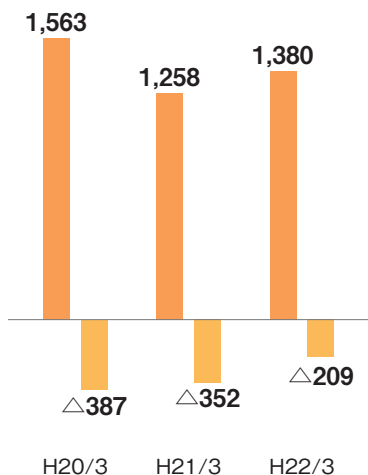
(↑前期比9.7%UP)

営業損益 **△2** 億09百万円

(—)

■ 売上高 ■ 営業損益

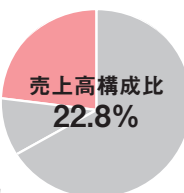
(単位：百万円)



産業機器事業

■ 当期の営業概況

連結子会社レシップ電子(株)のプリント基板実装については、下期に入り受注量が回復し、前期実績を上回りましたが、一方でバッテリー式フォークリフト用充電器や物販共用読み取り端末の売上が減少しました。



売上高 **30** 億97百万円

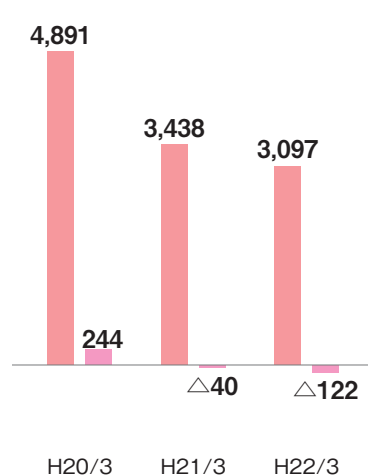
(↓前期比9.9%DOWN)

営業損益 **△1** 億22百万円

(—)

■ 売上高 ■ 営業損益

(単位：百万円)



Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

連結損益計算書

売上高

主力の輸送機器事業において、前年度まで好調に推移しておりましたバス用ICカードシステムが大口物件の一巡等により減少したほか、トラック用蛍光灯具の販売がトラック新車販売台数減少の影響により落ち込んだこと、また産業機器事業についても、景気の低迷に伴いバッテリー式フォークリフト用充電器等の産業用電源機器の販売が不振であったことなどから、前連結会計年度比19.8%減となりました。

販売費及び一般管理費

経費削減活動を強力に推進いたしましたことにより、前連結会計年度比12.8%減となりました。主な要因は人件費の減少、運賃の減少、広告宣伝費の減少であります。

特別損失

子会社の閉鎖に係る固定資産の減損損失19百万円と、現地従業員の特別退職金29百万円を計上した一方、前連結会計年度に計上されたS&D固定資産減損91百万円がなくなったことにより、前連結会計年度比60.8%減となりました。

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで
売上高	16,933	13,585
売上原価	12,810	10,894
売上総利益	4,122	2,691
販売費及び一般管理費	3,051	2,661
営業利益	1,070	29
営業外収益	73	81
営業外費用	39	46
経常利益	1,104	64
特別利益	18	46
特別損失	163	63
税金等調整前当期純利益	960	46
法人税、住民税及び事業税	487	30
過年度法人税	—	28
法人税等還付税額	△15	—
法人税等調整額	△33	△54
当期純利益	521	41

(単位:百万円) (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

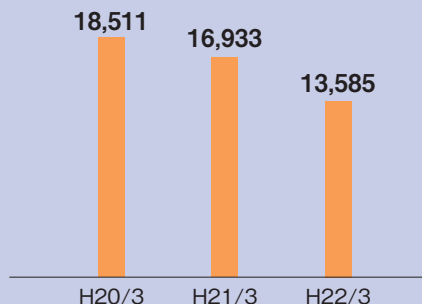
科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	平成20年4月1日から平成21年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	619	△526
投資活動によるキャッシュ・フロー	△316	△239
財務活動によるキャッシュ・フロー	△477	434
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	△8
現金及び現金同等物の減少額	△191	△339
現金及び現金同等物の期首残高	1,055	863
現金及び現金同等物の期末残高	863	524

(単位:百万円) (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結財務ハイライト Consolidated Financial Highlights

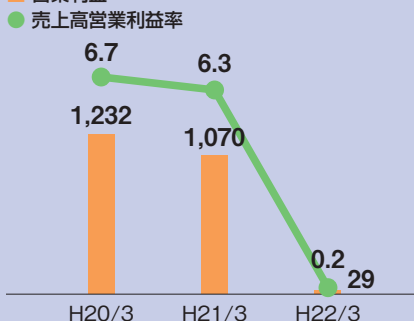
売上高

(単位:百万円)



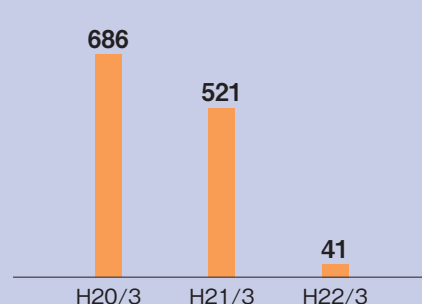
営業利益

(単位:百万円/%)



当期純利益

(単位:百万円)



■ 連結貸借対照表

流動資産

流動資産は79億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円増加いたしました。これは現金及び預金、たな卸資産等が減少した一方、受取手形及び売掛金等が増加したことによるものです。

固定資産

固定資産は25億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円増加いたしました。これは建物及び構築物等が減少した一方、繰延税金資産等が増加したことが主な要因であります。

流動負債

流動負債は43億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円増加いたしました。これは未払法人税、賞与引当金等が減少する一方、短期借入金等が増加したことによるものです。

固定負債

固定負債は9億08百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億11百万円増加いたしました。これは長期借入金等の増加によるものです。

純資産

純資産は52億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円減少いたしました。これは当期純利益を計上する一方で、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものです。

科 目

前連結会計年度
平成21年3月31日現在

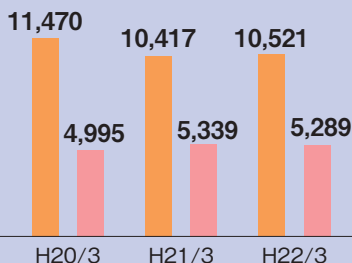
当連結会計年度
平成22年3月31日現在

資産の部

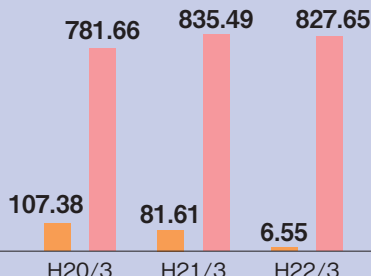
● 流動資産	7,904	7,987
● 固定資産	2,513	2,534
有形固定資産	1,847	1,650
無形固定資産	66	58
投資その他の資産	599	825
資産合計	10,417	10,521
負債の部		
● 流動負債	4,281	4,324
● 固定負債	796	908
負債合計	5,078	5,232
純資産の部		
株主資本	5,395	5,328
資本金	735	735
資本剰余金	719	719
利益剰余金	3,954	3,887
自己株式	△14	△14
評価・換算差額等	△56	△39
● 純資産合計	5,339	5,289
負債純資産合計	10,417	10,521

(単位：百万円) (注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

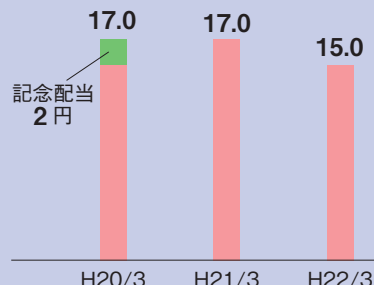
■ 総資産 (単位：百万円)
■ 純資産



■ 1株当たり当期純利益(EPS) (単位：円)
■ 1株当たり純資産(BPS)



■ 1株当たり配当金 (単位：円)



● 会社概要

商号	レシップ株式会社 (英文社名: LECIP CORPORATION)
事業内容	バス・鉄道・自動車用電装機器、 サイン&ディスプレイ関連機器、 産業用機器の製造・販売
所在地	〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2 TEL.058-324-3121 FAX.058-323-2597
設立	昭和28年3月
資本金	7億3,564万円
従業員	連結478名 単体418名
営業所	札幌・仙台・東京・中部(岐阜)・金沢・大阪 広島・福岡
上場取引所	東京証券取引所市場第二部 名古屋証券取引所市場第二部

● 役員 (平成22年6月24日現在)

代表取締役 社長執行役員	杉本 眞	執行役員	中村 和彦
取締役 常務執行役員	山口 芳典	執行役員	野々村 良晴
取締役 執行役員	長野 晴夫	執行役員	杉戸 庸晃
取締役 (非常勤)	河村 雅敏	執行役員	山本 直
取締役 (非常勤)	杉山 涼子	執行役員	上野 一雄
執行役員	岩田 毅	常勤監査役	安田 義則
執行役員	波多野 逸寿	監査役	中川 彰
		監査役	内木 一博
		監査役	中島 宜隆

● レシップ・グループ

レシップ電子株式会社
THAI LECIP CORPORATION LIMITED (タイ国)
LECIP U.S.A., INC. (米国)
LECIP INC. (米国)
レシップ上海電機有限公司 (中国)
レシップ産業株式会社

ホームページのご案内

当社のIRサイトでは、決算短信などの財務情報、報告書のバックナンバー、株式情報などを公開しています。会社サイトとあわせて、ぜひご利用ください。

- ホームページ TOP
<http://www.lecip.co.jp>



- IR情報 TOP
<http://ir.lecip.co.jp>

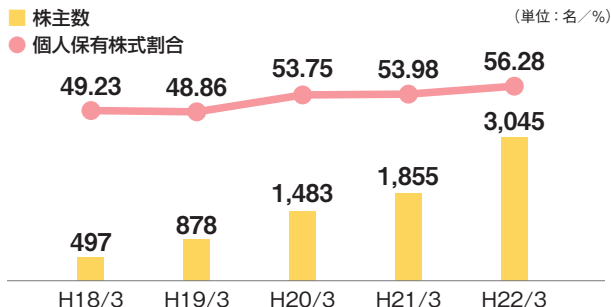
● 株式の状況

発行可能株式総数	22,000,000株
発行済株式総数	6,399,100株
株主数	3,045名

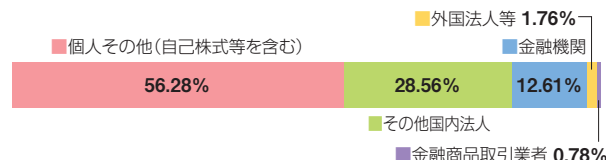
● 大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
レシップ社員持株会	565,320	8.83
名古屋中小企業投資育成株式会社	468,240	7.31
重陽産業株式会社	430,690	6.73
宗教法人記念堂	422,280	6.59
株式会社十六銀行	280,000	4.37
杉本 眞	206,600	3.22
天野 賢敬	160,020	2.50
株式会社三菱東京UFJ銀行	122,500	1.91
朝日火災海上保険株式会社	120,000	1.87
瀬川 隆彦	107,960	1.68

● 株主数推移



● 所有者別株式数分布



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人 (兼)特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都江東区東砂七丁目10番11号
公告の方法	当会社の公告方法は、電子公告といたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。なお、電子公告は当会社のホームページに掲載しており、そのアドレスは次のとおりです。 http://www.lecip.co.jp

株式に関するお手続き

- 株式に関する各種お手続き(住所変更、単元未満株式の買増請求・買取請求、配当金受領方法の指定など)は、株主様が口座を開設されている証券会社にてお取扱いしております。詳しくは、お取引証券会社にお問い合わせください。
- 株券電子化実施前に証券保管振替制度を利用されていなかった株主様の株式につきましては、特別口座で管理されております。特別口座に関する各種お手続き(証券会社の口座への振替※)、住所変更、単元未満株式の買増請求・買取請求、配当金受領方法の指定など)は、従来どおり、三菱UFJ信託銀行にてお取扱いいたします。
(※)証券会社の口座への振替について
特別口座では株式の売買を行うことはできません。売買を行う場合は証券会社の口座に株式を振り替えたうえで、証券会社においてお手続きを進めることになります。
・証券会社の口座をお持ちでない株主様は、あらかじめ証券会社で口座開設のお手続きを行ってください。
・単元未満株式の買増請求・買取請求につきましては、証券会社の口座に振り替えなくても特別口座において行うことができます。
特別口座に関する各種お手続きに必要な用紙のご請求は、下記のフリーダイヤルまたはホームページで24時間受付しております。
○用紙請求専用フリーダイヤル 0120-244-479(自動音声案内)
○ホームページアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 未払配当金のお受取りにつきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にてお取扱いいたします。



個人投資家向け各種イベントに出展しました。

東証IRフェスタ2010に出展

平成22年3月5日(金)、6日(土)、個人投資家向けIRイベント「東証IRフェスタ2010」が東京ドームシティ・プリズムホールで開催され、当社としては初めて出展いたしました。

株式会社東京証券取引所主催による同イベントは、2日間の総来場者数が約10,600名となり、当社出展ブースや会社説明会へも多くの方々にお立ち寄りいただくとともに数多くの貴重なご意見を賜りました。

今後も、個人投資家の皆様を対象にした各種イベントに積極的に参加し、当社をご紹介させていただく機会を増やしてまいりたいと考えております。

その他個人投資家向けイベントの参加実績

開催日	イベント名
平成21年7月17日～18日	名証IRエキスポ2009
平成21年12月9日	個人投資家向け会社説明会 (野村証券岐阜支店)
平成22年3月17日	個人投資家向けIRセミナー (新光総合研究所)



参加者からのご意見

- 今後の市場性又は競争について、激戦になると思いますが、将来性を考え、新開発を続けられシェアの確実な伸長を期待します。なにしろ、トップシェア製品が多いので、他社をどんどん離れてダントツで頑張ってください。
- レシップの技術を、米国以外の、例えばBRICsに対しても普及させていく工夫も必要ではないでしょうか？
- レシップ本社の近くに住んでいますが、はじめて事業内容について知りました。今後とも地域に貢献していただきますよう、お願いいたします。
- 株主優待が楽しみです。

～ IR担当者から ～

大変ご好評いただいている株主優待品(富有柿)は、今年も11月下旬頃の発送を予定しています。岐阜県本巣市の地元農家の皆様が、ひとつひとつ丁寧に、一番美味しい時期を選んで収穫しているため、1日の発送量に限りがあり順次発送とさせていただきます。また、天候の状況などにより発送の開始時期が若干予定よりもずれる可能性もありますので、何卒ご了承くださいませよう、よろしくお願いたします。



LECIIP

お問い合わせ先

レシップ株式会社

管理本部 総務部(IR担当)

〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2

TEL.058-324-3121 FAX.058-323-2597 URL : <http://www.lecip.co.jp>

